

北海道文教広報

26
June
2011

学校法人 鶴岡学園 北海道文教大学

北海道文教大学大学院 北海道文教大学附属幼稚園
北海道文教大学明清高等学校

教育環境の拡充整備に向け、 8号館着工。

2011年度は2学部6学科全てが入学定員を充足する結果となり、北海道文教大学関係者にとては明るい新年度となりました。これは教職員が一丸となって協力・邁進した結果ではあります、常日頃、本学の教育活動にご理解とご支援を頂いている皆様のお力と感謝しております。

さて、本学理事長・学長である鈴木武夫先生

より、本年1月6日の新年交礼会において発表

された2011年度恵庭キャンパス整備計画に基づき、6月2日大安吉日に北海道文教大学8号館新築工事地鎮祭が執り行なわれました。学園関係者や工事関係者約30名が参加し、新築工事の安全を祈願しました。8号館はRC造5階建、延べ床面積3,370m²の規模で、特に1階は天井高3.7m、床面積497.7m²(約150坪)の学生ラウンジを中心に構成されます。2階以上は16の中小教室として活用し、5階部分は将来計画に対応するように、フリースペースとして運用される予定です。特に学生ラウンジは国家試験資格対応学科が多い本学にあっては、講義出席率が極めて高く、昼食時に於ける学生会館内学生食堂の混雑緩和が求められており、その代替機能やグループ学習や学生達による多彩な活用が期待されます。2012年2月中旬には竣工予定であり、3月には供用が可能となる計画です。又、既に工事中であったサークル会館は6月16日に無事竣工いたしました。シル

バーに輝く外観を見上げ、学生は期待に胸ふくらませています。

このような教育環境の整備が一応の完成をみる本学ですが、2012年度には学園創立70周年を迎えます。これを記念し2012年6月8日の学園創立記念日には学園創立70周年記念式典を開催する計画であります。



地鎮祭にて 鈴木学長・理事長

東日本 大震災義援金の 交付式

平成23年3月11日に三陸沖を震源に発生した東日本大震災は、国内観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、津波と火災で多数の死者・負傷者が出ております。家屋の倒壊及び漁業基地の漁船・港湾施設・関連設備等に多くの損害が発生し、さらに、東京電力福島原発の爆発・放射能汚染などの被害が発生して住民に避難命令も発令されております。

死者及び不明者は26,000人という多数の痛ましい犠牲者が出ております。

被災者に対しまして心からお見舞いを申し上げるとともに、犠牲者に慎んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りするところであります。

本学園でも、今回の震災の被災者・被災地の一日も早い復興を応援するため義援金として50万円を寄付することといたしました。

また、教職員にも呼びかけて義援金を募ることとし、大学の事務室に募金箱を設置して募金活動を続け、皆様から貴重な浄財として6万2千610円をいただきました。

この活動も、2ヶ月を経過しましたので一旦募金箱を閉じ、本学園及び皆様のご厚志である義援金を日本赤十字社を通じて寄付することとし、平成23年6月1日に日本赤十字社の窓口を設けている恵庭市役所において、56万2千610円を鈴木理事長から原田恵



義援金募金活動

2

011年3月11日14時46分頃

に発生した東北地方太平洋沖地震をきっかけに、本学の理学療法学科4年の樋口が「私達に何かができるのではないか」と思い、同4年の楠、夏堀に相談した事がきっかけとなり、この3名(以下、代表者3名)で本学を母体とする「恵庭学生災害支援プロジェクトチーム」を立ち上げました。このプロジェクトチームでは、恵庭の学生および他学生(札幌国際大学、千歳リハビリテーション学院など)によってメンバーが構成され、51名の有志が集まりました。

私たちの活動は街頭募金をメインとし、集められた義援金は全額「日本赤十字社」に寄付いたします。恵庭市内のスーパー「おはんさん」、フードDさん、JR恵庭駅、道と川の駅「花ロードえにわ」さん、新千歳空港さんで街頭募金を行い、また、本学校内、恵庭社会福祉協議会さん、恵庭アコースティック野外音楽祭会場に募金箱を設置させていただきました。その他、地域FM放送e-niwa(いーにわ)さん、日本福祉リハビリテーション学院さんが集めた義援金を私たちに預けてくださいました。総額は147万8千72円(5/30現在)となり、私たちが予想していたよりもはるかに多くの義援金が集まり、少しでも復興に協力できたのかな、と思いました。同時に皆さんの募金への意識の高さに感動しました。

募金活動を行っているときに「寒いのに大変だね。頑張ってね」「被災地から避難してきたよ。こういう活動をしてくれてありがとうございます」「などたくさん温かい言葉をかけてくださいり、活動を行っていくにあたり、とても励みになりました。



街頭募金の他にも、道と川の駅「花ロードえにわ」さんでメッセージBOXを設置し被災地へのメッセージを募集したり、地域FM放送e-niwa(いーにわ)さんに協力していただき、被災地のラジオ局まで送つていただきました。いくつかのラジオ局からも「心温まるメッセージで励まされました」などのお返事もいただきました。

まだまだ被災地復興には時間もお金も人手も不足していると思いますが、募金活動やメッセージの募集を通じて、少しでも力になれていれば嬉しいです。

勝手ながら代表者3名が学業のため募金活動を続けることが困難であり、5月末

川の駅「花ロードえにわ」さん、新千歳空港さんで街頭募金を行い、また、本学校内、恵庭社会福祉協議会さん、恵庭アコースティック野外音楽祭会場に募金箱を設置させていただきました。その他、地域FM放送e-niwa(いーにわ)さん、日本福祉リハビリテーション学院さんが集めた義援金を私たちに預けてくださいました。総額は147万8千72円(5/30現在)となり、私たちが予想していたよりもはるかに多くの義援金が集まり、少しでも復興に協力できたのかな、と思いました。同時に皆さんの募金への意識の高さに感動しました。

私たちが活動を通してたくさんのことを学び、感じることができました。なによりも人の温かさや繋がりを感じています。

私はこの活動を通してたくさんのことを学び、感じることができました。なによりも人の温かさや繋がりを感じること

理学療法学科 4年 夏堀 敏秀
樋口 紗絢

「東北地方太平洋沖地震」で被災された入学予定者・在学生に対する

経済支援特別措置について

本

学では、未曾有の大震災により災害救助法の適用を受ける市町村の入学予定者・在学生に



方々の支えがあったからこそ、私たちの気持ちを形にできたのだと思います。皆様のご協力、本当にありがとうございました。

対し、修学の支援を図るため、入学金及び学費等を免除する経済支援特別措置を実施しました。学生達の様々な動きに呼応するようなタイミングで、比較的速やかにホームページ上で告知できました。幸いにも該当者の中で、本人及び家族の方々に身体的被害はありませんでしたが、ほとんどが家屋の損害等に該当するケースであり、広範囲におよぶ災害の大きさに驚いています。

災害で被害を受けながらも明るく気丈に対応くださった保護者の方々の表情や声にむしろ我々が元気を頂いたようです。学生達は新年度となり元気に通学しています。北海道新聞社さん、千歳民報さん、株式会社メディアコムさんにも取材していました。ただ、何度も記事にしていただきました。地域FM放送e-niwa(いーにわ)さんは募金箱を作るためのダンボールを提供していただいたうえに、ラジオを通じて活動日程を周知して下さいました。多くの

支援の輪を広げ、 友情の絆を深める。 静宣大学に留学中の小林良平くんに 台湾社会が注目！

東

日本大震災へ海外から最大の
義援金を送ってくれた台湾。そ

の台湾の静宣大学に留学して
いる、外国語学部4年生の小林良平くんの
大震災支援の活動が、台湾メディアを中心
に大きく取り上げられている。

突如日本からもたらされた東日本大震
災の報に、持ち前の行動力と留学でさらに
磨きのかかった英語・中国語を使って、静
宣大学の留学生や現地学生たちを中心と
して日本を支援する活動「Love Japan 3.11」
を自ら代表として立ち上げる。各国の学生たちが協力し合う中
で深めたこの新たな「絆」は、大学のみなら
ず台湾の多数の新聞・テレビなどの報道
で注目されることとなり、台湾社会に静か
な「広がり」を見せていている。

また、小林くんは日本や震災へ正確な理
解と大きな関心を持ちつつ、義援金や応援
メッセージなどを送つてくれる台湾の人た
ちの温かくて大きな心に感動し、春の長期
休暇を利用して台湾中に「ありがとう」を
言う感謝の旅に出かけた。

この感謝の旅も台湾で各方面から注目
されることになり、小林くんが始めた二連

の震災支援の活動は、留学先の静宣大学か
らも「優秀社会服務団体賞」（社会に大き
く貢献した大学活動団体）を授与された。
このように大学の資金提供や伝統のない團
体である一般サークル団体が受賞したこと
自体、初の快挙であるとのことである。

（国際言語学科 講師 渡部 淳）



Love Japan 3.11 環島台灣感恩之旅 3/31~4/5



Love Japan 3.11

3月11日の東北地方太平洋沖地震を私たち交換留学生は
台湾で知りました。現在でも多くの方々が支援や物資を必要
としています。さらに、多くの台湾の学生から私たち日本人に
たくさん激励の言葉をいただいています。私たち日本人留
学生として、一人でも多くの台湾の学生と協力し、共にこの
困難を乗り越え、被災地の復興に少しでも役に立ちたいと
思っています。私たちと台湾の学生の「絆」が深まる事を信じ
この活動団体を創設いたします。

<http://lovejapan311.xxxxxxx.jp/index.html>
または、大学ホームページまで

私は、Love Japan 3.11の代表を
やつている小林です。台湾の春の長期休暇を利
用して台湾を周し、日本への義援金や応援メッ
セージなどの支援活動に対しても「ありがとう」を
言うキャンペーンを行いました。この活動を始め
ようと思ったきっかけは、日本の災害後、私たち
が始めた募金活動やテレビ、新聞で見聞きした
義援金支援など多くの台湾の方々が日本の震
災に関して関心を持ってくれて、大変協力的な
多くの台湾の方に「Love Japan 3.11」の代表としてではなく、1人の日本人として
直接ありがとうございました」と思つたからです。

具体的なキャンペーンの内容は、3つあり
119枚印刷した「ありがとう」というメッセ
セージカードをわたくし日本から台湾へのメッセ
ジカードを多くの人に伝え、この活動の趣旨を
説明する大きな「謝謝カード」を多くの人に見
せるなど、活動でした。台湾から日本へ様々な支
援や応援メッセージが送られています。そんな
中、私たち台湾に留学している日本人留学生に
何ができるか、考えてみました。私は、「ありがとう」
を言う事だと思いました。少しでも多くの
台湾の方々に「ありがとう」といふ事を伝えるには、「台湾を
一周する」とことだと思いました。台中の大学から
スタートし、台北、花蓮、台東、高雄、台南といっ
た、様々なところで「ありがとう」といふながら、
119枚印刷したメッセージカードを配り、日

本の友人から送られてきた日本や台湾に居る
日本人学生からの「ありがとう」のメッセージカード
を見てもらいました。

このキャンペーンを通じて、多くの人が日本に
関心をもつている事に気づき、そして、多くの人
の優しさに触れました。今、私に出来る事。それ
は、自分の春休みを利用し、多くの人に「ありがとう」
と伝える事。推定千人に「ありがとう」とい
う100人に感謝カードを配る事が出来ました。
感謝、台湾。

（外国語学部 4年 小林 良平）





(CGによる合成写真です)

教育情報 公開義務化

学校教育法施行規則等の改正に伴い、大学等は、その教育研究活動等の状況を積極的に公表することが規定されました。公開が義務付けられるのは

- ①教育研究上の目的
- ②教育研究上の基本組織に関すること
- ③教職員の数と保有学位、業績
- ④入学者の受け入れ方針、入学者、在籍者、卒業者数、卒業後の進路
- ⑤授業の方法・内容、年間授業計画等
- ⑥学修成果に係わる評価、卒業、修了の認定基準
- ⑦学修環境に関する情報
- ⑧授業料、入学料、その他の経費
- ⑨学生支援等

に関する情報の9項目で、刊行物への掲載、インターネット利用その他広く周知を図ることができる方法により行うものとなっています。

例えば定員割れなど大学側に不都合な情報も公表し、大学概要や教育内容を透明化し、学修環境の改善や質の高い教育実現を促すのが狙いとおもわれます。本学においてはHP上を中心におおむね公表済みですが、公的教育機関として、学生、保護者社会に公表が求められる情報を積極的に開示する機会と捉え、前向きに説明責任を果たしていくのは大学として当然の義務と考

現在進められている大学改革を大きくみると、大学の持つ個性・特色に応じて機能的に分化し、それに基づく教育課程を通じて修得できる知識・能力の体系に係わる取り組みを積極的に公表することが期待されているのでしょう。大学像をこれまでの入試難易度だけによる単一の尺度で捉えるのではなく、

「入学者受け入れ方針」（アドミッション・ポリシー）、
「教育課程の編成・実施」（カリキュラム・ポリシー）、
「学業評価・学位授与」（ディプロマ・ポリシー）といった一連のポリシーを体系化した「学位プログラム」に着目した大学像として捉えられる時期となつたことを強く意識しなければと思います。

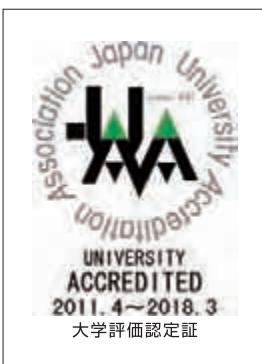
認証評価・ 大学基準適合 認定証取得

認証評価

大学には、自らの教育研究の質を向上させるために、教育研究、組織運営及び施設設備の総合的な状況に関し自己点検評価を行い、その結果を公表するとともに7年以内の周期で文部科学大臣の認証を受けた評価機関（認証評価機関）が実施する評価（認証評価）を受けることが平成16年度から学校教育法により義務付けられています。

具体的には、認証評価機関が、大学から申請に基づき、認証評価機関が定める基準に照らして、当該大学の教育研究を中心とする諸活動について、自己点検・評価を通じ、適切な水準を維持できているか。また、水準を向上させるための能力があるか。などを評価するというものです。

本学は、平成18年度（1回目）及び平成22年度（2回目）に財団法人大学基準協会による認証評価（書面評価・実地観察・学生へのヒアリング）を受審し、大学全体として「基準協会が定める大学基準に適合している」との評価（認定）を受けました。このことにより、社会に対し本学における大学の質が保証されました。認定期間は平成23年4月1日から平成30年3月31日までの7年間となっています。



知識・技能などの能力を修得させていくのか、こうした能力を涵養するためにどのようなカリキュラムが必要になり、どのような教育方法が求められるのか、これらのことをしっかりと連動させていくことが重要であると考え、今年度から重点的に「教育内容・方法・成果」を自己点検・評価項目に選定し、学科ごとに、学位の質をいかに確保していくかという問題を取り組んでまいります。

関連情報：北海道文教大学ホームページ
[<http://www.do-bunkkyodai.ac.jp>]

HOME
▽自己点検・評価報告書



大学評価委員会
副委員長
教授
永原 和夫

教育の質的向上へ 向けて

「評価基準」もこれまでの15の基準が整理・統合されて次の10の基準に改定されました。(1)理念・目的、(2)教育研究組織、(3)教員・教員組織、(4)教育内容・方法・成果、(5)学生の受け入れ、(6)学生支援、(7)教育研究等環境、(8)社会連携・社会貢献、(9)管理運営・財務、(10)内部保証。

本学では、5月17日に開催された大学評価委員会で、次回の認証評価を視野に、平成23年度以降の自己点検・評価について日程等を確認し、実施に関わる方針を決めました。すなわち、毎年、「大学基礎データ」を編集・刊行し、各学科（大学院研究科を含む）は、評価基準④「教育内容・方法・成果」について大学基準協会が定める

視点にしたがい自己点検・評価を行い、その結果を基に教育の改革・改善に努め、大学の質的向上を目指す。さらに3年に一度、すべての評価基準について全学規模の自己点検・評価を実施して外部評価を受けるというものです。なお、各学科の自己点検・評価報告はA4判6枚を限度とし、提出期限は12月末日です。

ポスト多様化の新たな課題として、学位の質をどう保証するかが問題となり、設置基準の厳格化を含め、大学の質の標準化を求める動きが急速に強まっています。とりわけ、大学教育の国際化・流動化が進むにつれ、質保証システムの整備は、我が国の国際的信頼性を維持する意味でも欠かせない課題になっています。

いま、大学は入学していく学生の質が多様化している中で、学生に一定の能力を修得させて学位を授与し社会に輩出していく使命が、一層求められるようになってきているという状況下にあります。本学では、4年間の学士教育課程でどのような人材を育成していくのか、また、具体的にどのような

期の認証評価が始まるのを期に、これまでの法令遵守中心の評価から、大学の自主性・自律性を尊重し、大学が自らの責任で自己改革・改善を行い、大学の質の維持・向上を目指す内部質保証システムの整備状況を重視的に評価することに方針を転換しました。そのため、新たな評価基準・評価項目では、PDCAサイクルが適切に機能しているかどうかが評価されることになります。

これまで外国語学部3学科と人間科学部の健康栄養学科と理学療法学科では、自己点検評価を経験していますが、作業療法学科、看護学科、こども発達学科、国際言語学科では初めて自己点検評価を実施することになります。これまで経験済みの学科にとっても、大学基準協会が「新たな大学評価システム」で要求している大学の質的保証とは具体的に何を指すか等迷うことが多いと思います。また改革・改善に必要なPDCAシステムについて、円滑に運転していくためには現在の規程を改正し新しい体制を作らなければならぬかもしれません。「新たな大学評価システム」は分からぬことだけですが、大学の質的向上に向けて動き出さざるを得ません。幸い私たちには次回の認証評価まで7年間の猶豫があります。不足分は暫時補充することにして、次の5点を念頭に学科内で、毎年、自己点検・評価を実施し次につないでいくことが肝要と考えます。

①大学の理念・目的を強く意識しているか（または十分に説明できるか）
②教育方針・内容は現代社会の要請に応えるものであるか
③専攻分野の専門的能力が身についているか
④21世紀型市民に必要な「学士力」が身についているか
⑤達成目標は上記の能力・態度を育成する上で適切であるか

吹奏楽部 奨勵中です。

吹

奏学部は平成20年7月、僅か4名程度の愛好会としてスタートしました。樂器も各自用意したもので、仲間の会的な始まりでしたが、翌年からは人数も増え、平成22年7月には同好会に昇格しました。この頃には樂器購入にあたり大学からの支援も目途がつき、本格的な演奏活動に入れるようになりましたが、決して順調という訳ではありませんでした。部長の本間悠暉（作業療法学科3年）君は、「激動の2年でした、会計の小川真歩（看護学科3年）さんの献身的な協力がなかったら、急増したサークルを一つにまとめるることはできなかつた」と振り返ります。

そんな彼らに大舞台が用意されたのは、学位記授与式（卒業式）・入学式での演奏です。本格的練習を開始したのは昨年10月の大学祭終了からで、パート練習を主とし、全体的な練習は冬休みが始まってから、主に大講堂を利用して行なわれました。周囲が心配する



本学期期待の女性アスリートが大活躍！

平

成23年3月13日（日）に帯広の森アイスアリーナで開催された「第30回全日本女子アイスホッケー選手権大会（A）」で、本学の米山知奈（健康栄養学科2年）さんと前田葉月（国際言語学科2年）さんが所属する三星ダ

イトーベリグリンが、7年ぶり歴代最多となる14度目の優勝を決めました。『今シーズンは全ての大会で優勝する』というチー

ム目標を掲げ、見事全国大会という大舞台での金星です。大会期間中には東北大震災が起り、試合中も何度かの余震に見舞われたそうですが、平常心を心がけ、一つの試合を大切に、自分たちのホッケー

までも無く堂々たる演奏は参列した人々に自然に受け入れられていきました。見事無事に演奏を終了した彼らに部昇格の嬉しいニュースが入ったのは本年4月です。部員も45名となり、5月15日に恵庭市のアコスティック野外音楽祭で演奏する前日には初合宿を行い、部昇格の喜びで早朝まで語り合いました。本番当日は全員寝不足の状態で演奏しましたが、そんな彼らを温かく見守る発足時代表の中村拓也（作業療法学科4年）君は、「これからが部活動の本番、目標も定まり、新たな課題や難問が彼らを待っていると思いますが、一つひとつ着実に

練習の送り迎えなど、支えてくれた親に改めて感謝したいです」と話すのは米山さん。3歳の頃に通い始めたスケート教室が誘いましたが、スポーツをする上で「食」という面から体調を管理することに決意。管理栄養士の資格取得を目指し、勉強とアイスホッケーの両立に努めています。また昨シーズンより陸上トレーニングを強化し、氷上でプレーに磨きをかけている前田さんは、小柄な身体ながらチームのゴールを確実に守り抜くキーパーとして活躍中。講義の合間にも大学のウエイトルームでのトレーニングを着実にこなす努力家です。

今シーズンも最強のチームメイトとして様々な大会に臨む予定のお二人に、今後の目標を聞いてみました。米山さんは「全大会の優勝を目指すのはもちろん、日本代表としてオリンピックに出場することも大きな目標です。もちろん大学生として勉強との両立も引き続きがんばっていきたいです」と満面の笑みで話してくれました。前田さんは「優勝、という目標の実現に向かって引き続き練習に力をいれていきたいです」と意気込んでいました。

水上の格闘技と言われ、激しい試合とゲーム展開が魅力のアイスホッケー。「ぜひ一度見にきて下さい。きっと楽しめますよ！」と話すお二人の活躍をぜひ皆さんも応援に行つてみましょう！



タートしました。樂器も各自用意したもので、仲間の会的な始まりでしたが、翌年からは人数も増え、平成22年7月には同好会に昇格しました。この頃には樂器購入にあたり大学からの支援も目途がつき、本格的な演奏活動に入れるようになりましたが、決して順調という訳ではありませんでした。部長の本間悠暉（作業療法学科3年）君は、「激動の2年でした、会計の小川真歩（看護学科3年）さんの献身的な協力がなかったら、急増したサークルを一つにまとめることはできなかつた」と振り返ります。

そんな彼らに大舞台が用意されたのは、学位記授与式（卒業式）・入学式での演奏です。本格的練習を開始したのは昨年10月の大学祭終了からで、パート練習を主とし、全体的な練習は冬休みが始まつてから、主に大講堂を利用して行なわれました。周囲が心配する

実に彼らなら解決するでしょう」とエールを送ります。7月10日には札幌地区に大学合同の演奏会（大学バンドフェスティバル）に出席し、10月には2度目の大学祭での演奏を予定しています。周囲の関係者も納得する吹奏学部の大奮闘に賛同の輪は着実に拡がりを見せていくようです。

全日本女子アイスホッケーの頂点に！



北海道学生陸上競技対校選手権大会で初優勝!!

平

成23年5月20日(金)～22日
(日)に札幌市円山陸上競技場にて開催された第63回北海道学生陸上競技対校選手権大会(北海道学生陸上競技連盟主催)で、本学陸上競技部神直之(理学療法学科3年)君が男子3千m障害において9分30秒55の記録で初優勝しました。その結果、9月9日(金)～11日(日)に熊本県民総合運動公園陸上競技場で開催される天皇賜杯第80回日本学生陸上競技対校選手権大会に出場することが決定しました。

神さんは、中学校1年生から陸上競技をはじめ、高校生の時には、東北総合体育大会に出場、大学入学後も、日本学生陸上競技個人選手権大会、出雲全日本大学選抜駅伝競走大会(北海道選抜4区として)に出席実績があり、実習等が多い理学療法学科において学業と競技を両立させ今回の快挙を見事達成し、今後も、更なる活躍が期待されます。

優勝おめでとうございます！



ゼッケン5番が神さん

新入生歓迎会



新入生歓迎会が4月16日(土)に行われ、350人を超える学生が参加しました。例年、この企画は学友会が年度最初の学友会行事として前年度から時間をかけて立案しており、今年度は委員長の曙恭汰(看護学科2年)君が中心となつて、「新入生同士や在校生が交流をすること」で、これから

「スポーツを重視した種目とふれあいを重視した種目を行い、多くの学生が交流する」を目的に5月28日(土)学友会の企画立案による体育祭が行われ、250名が集まりました。その日は天気にも恵まれ体育祭日となり、午前中は燐々と輝く太陽の下、グラウンドで大運動会を行いました。

大運動会の競技は4人1チームの障害物リレー形式による平均台＆パン食い競走・大玉転がし・玉入れ・借物走・4人5脚走といった内



午後からはバスケットボールとバレー、ボーリングが体育館で行われ、大運動会とはまた違う盛り上がりでした。経験者が多く参加していく試合のレベルが高く、白熱した試合が繰り広げられました。観ている学生も熱くなるよう

援している学生も楽しめたのではないか。今年度の体育祭もこうして幕を閉じました。スポーツ重視・ふれあい重視の種目で試合を通して、観戦を通して学生が交流することができたと思います。

(学生課)



富な種類の料理や、ケーキ等のデザートを食べながら、学生同士親睦を図つてゲームに参加したり、サークル紹介での各団体のパフォーマンスを熱心に観たりしていました。特に抽選会は今回、歓迎会で一番盛り上がった目玉企画で、賞品が当たった学生はすごく嬉しそうな顔をしていました。

今回の新入生歓迎会に参加する

ことで新入生同士や在校生と楽しく交流することができ、これから希望に満ちた実りのある大学生活を始めることができるのではないか。

(学生課)

援している学生も楽しめたのではないか。今年度の体育祭もこうして幕を閉じました。スポーツ重視・ふれあい重視の種目で試合を通して、観戦を通して学生が交流することができたと思います。

(学生課)



学生支援

新就職氷河期

今 春卒業の大学生の就職内定率は、「就職氷河期」といわれた2000年前後より低い数字が続いてきました。就職状況の厳しさが年間を通じて続き、最後迄、改善の兆しが見えませんでした。

この就職難は、2008年のリーマンショック以降、企業が新卒求人を抑制したこと最大の理由と言られています。本学は、昨年度卒業生についても、道内他大学の中で、高い就職決定率に繋げることが出来ました。どの学科についても、個々の希望・適性などを把握し、一人ひとりの進路実現に向けて、大規模の大学では実施が困難である学生との継続的な面談を基本にした進路実現に向けての取り組みを進めてきています。その為に、個々の学生の就職支援を基本にし、就職担当教員およびアドバイザー教員と日頃から連絡を密にし、協力体制を大事にしてきています。それぞれの学科の2011年3月卒業生の就職活動や就職課の取り組みをお知らせします。

外国語学部

昨年度の学生の「就職活動への姿勢」に今迄と違うものが感じられます。それは、新聞やテレビなどの報道関係、家庭や友人関係そしてアルバイト先などで雇用状況の厳しさと例年にはない大学生の就職内定の低さが頻繁に話題になり、早い時期から多くの学生の間で、就職活動に対し、緊張感が高まってきたように思われます。このこ

とは、合同企業説明会参加の学生数も増え、多くの企業の説明を聞きたいとも考え、一度の企業説明会の滞留時間も長いようでした。その為に学生の応募企業数も多く、少しでも多く内々定を得る要因にもなったと思われます。

未内定者への対応は年間を通じて、就職課の最大の課題でもあります。特に十月以降になると企業の求人も少なくなります。学生の選択企業も少なくなることから就職課で把握している学生の興味・関心などに合わせ、個々の学生にとって必要とする求人内容をその都度電話やメールで知らせ、応募を促してきています。進路指導室で、選考試験の互いの情報交換が見られますが、同じ学友がこの厳しさと共に乗り越えていこうとする姿は喜ばしいことでもあります。

健康栄養学科

近年、札幌市及び札幌近郊の求人は減少傾向にありますが、利便性を好む学生にとっては、この地域の応募希望が年々増えてきています。就職状況の厳しさは、食に関わる求人にも見られ、管理栄養士の退職者も少なくなってきているようで、その為、求人件数も減少しています。

管理栄養士の国家試験後の求人が、前年度より大幅に減っています。それも、就職決定に直接影響しました。

このような就職環境の中で、学生の就職意欲は、高く、国家試験に向けて日々、学習に励む中で、就職状況の現実を見極め、着実に就職活動に取り組んできました。

学生は、求人票の閲覧と相談活動の為、

に、頻繁に就職指導室に足を運びました。就職課は、就職内定の厳しさを最後まで実感してきましたが、自分の為、そして、精神的にも、経済的にも支えてくれた家族の為にも、卒業後すぐ就職したい強い願いから、多くの学生は、粘り強く、内定獲得に向けて挑戦してきました。

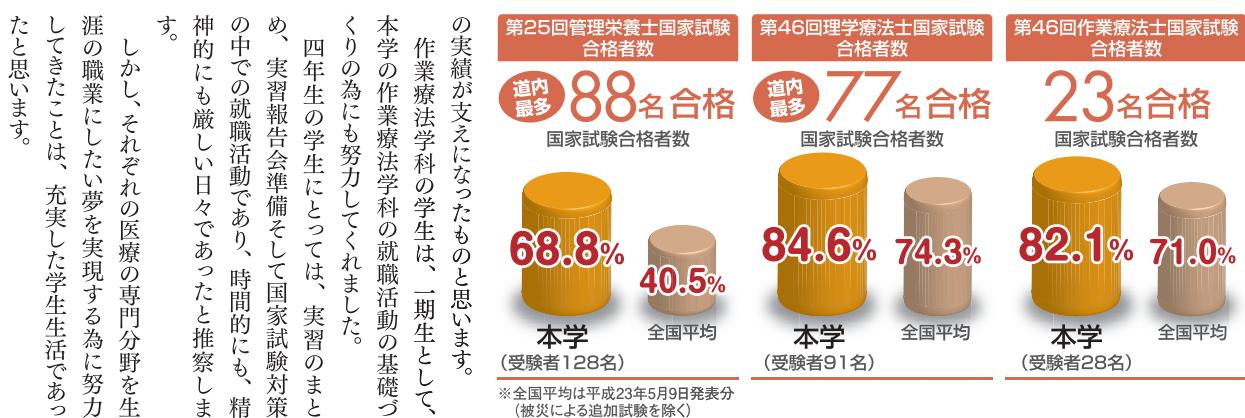
一人ひとりが、自己の進路決定に納得し、職場での力強い第一歩を踏み出すことが出来たものと思います。また調剤薬局、国立病院機構など新たな分野での管理栄養士としての活躍が期待される卒業生もいます。

理学療法学科 作業療法学科

長期の実習を終えた両学科の学生は、自己の進む分野を明確にし、希望する特定の病院や施設を目標に、その選考試験の準備を計画的に進めてきました。特に9月になり、就職課での求人情報把握や、病院・施設の人事担当者による学内説明会などによって、広く進路先情報を収集してきました。また、これまでの実習体験なども視野に入れ、志望先を選択してきました。興味・関心のある病院・施設には、直接訪問した学生も多くいました。

就職課は、選考試験に向けて、個々の学生との面談を通して、履歴書の作成の仕方・添削・面接対応、論文添削について支援を続けてきました。

理学療法士学科の学生にとって、親しく交流のあった一期生の就職活動の姿や自分達に対するアドバイスが参考になったようです。そして、何よりも一期生の就職決定



文教広報25号に(大学の授業において習得すること)ができた、「アプリケーションリーフランサーを“見える化”させる目的で、“Microsoft Office Specialist”資格の取得を推奨」し、「推薦理由は単純明快。数あるこの類の資格のなかで国際的に通用する唯一の資格であるからである」と書きました。

5月に入りて間もなく、マイクロソフトから「マイクロソフトオフィス世界学生大会2011」の日本大会において、Word 部門4位・高橋由紀さん(看護学科2年)、同部門19位・澤田真帆さん(看護学科2年)、Excel 部門14位・橋本美穂さん(看護学科2年)、同部門19位・三上咲さん(同学科2年)も発達学科2年、同部門5位・三上咲さん(同学科2年)、同部門19位・澤田真帆さん(看護学科2年)、Excel 部門14位・橋本美穂さん(看護学科2年)といふ連絡が入りました。正直申し上げて、全国の受験者が数万人を数えるこの大会で、全国立大学や首都圏の名立たる有名大学の学生に混じって4名もの学生が入賞(各部門上位20位以内)するという大きな成果をあげたことに驚きました。4名の学生諸君には心よりおめでとうと書いてあげたいと思います。

本学に赴任してくる前、「北海道の子どもは学力が低い」ということをよく耳にしました。これは、毎年4月に小中学生を対象に行われている「全国学力・学習状況調査」でも明らかになつていることなのです

文教広報25号に(大学の授業において習得すること)ができた、「アプリケーションリーフランサーを“見える化”させる目的で、“Microsoft Office Specialist”資格の取得を推奨」し、「推薦理由は単純明快。数あるこの類の資格のなかで国際的に通用する唯一の資格であるからである」と書きました。

5月に入りて間もなく、マイクロソフトから「マイクロソフトオフィス世界学生大会2011」の日本大会において、Word 部門4位・高橋由紀さん(看護学科2年)、同部門19位・澤田真帆さん(看護学科2年)も発達学科2年、同部門5位・三上咲さん(同学科2年)、同部門19位・澤田真帆さん(看護学科2年)、Excel 部門14位・橋本美穂さん(看護学科2年)といふ連絡が入りました。正直申し上げて、全国の受験者が数万人を数えるこの大会で、全国立大学や首都圏の名立たる有名大学の学生に混じって4名もの学生が入賞(各部門上位20位以内)するという大きな成果をあげたことに驚きました。4名の学生諸君には心よりおめでとうと書いてあげたいと思います。

本学に赴任してくる前、「北海道の子どもは学力が低い」ということをよく耳にしました。これは、毎年4月に小中学生を対象に行われている「全国学力・学習状況調査」でも明らかになつていることなのです

文教広報25号に(大学の授業において習得すること)ができた、「アプリケーションリーフランサーを“見える化”させる目的で、“Microsoft Office Specialist”資格の取得を推奨」し、「推薦理由は単純明快。数あるこの類の資格のなかで国際的に通用する唯一の資格であるからである」と書きました。

5月に入りて間もなく、マイクロソフトから「マイクロソフトオフィス世界学生大会2011」の日本大会において、Word 部門4位・高橋由紀さん(看護学科2年)、同部門19位・澤田真帆さん(看護学科2年)も発達学科2年、同部門5位・三上咲さん(同学科2年)、同部門19位・澤田真帆さん(看護学科2年)も発達学科2年、同部門5位・三上咲さん(同学科2年)、同部門19位・澤田真帆さん(看護学科2年)も発達学科2年、同部門5位・三上咲さん(同学科2年)といふ連絡が入りました。正直申し上げて、全国の受験者が数万人を数えるこの大会で、全国立大学や首都圏の名立たる有名大学の学生に混じって4名もの学生が入賞(各部門上位20位以内)するという大きな成果をあげたことに驚きました。4名の学生諸君には心よりおめでとうと書いてあげたいと思います。

本学に赴任してくる前、「北海道の子どもは学力が低い」ということをよく耳にしました。これは、毎年4月に小中学生を対象に行われている「全国学力・学習状況調査」でも明らかになつていることなのです

求められる「教育力」

国際言語学科准教授
菅原 良

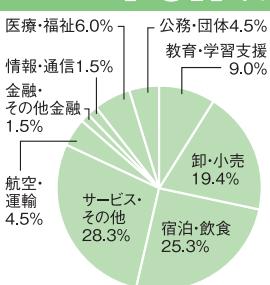
が、赴任してきてわかつたのは、「勉強ができない(学びの能力を持っていない)」のではなく、「勉強のやり方がわからない」だけに過ぎないのだということです

(そういった意味では、「全国学力・学習状況調査」で測定しようとしている能力は何なのか疑問が残ります)。都会の子どもたちは、激しい受験戦争に立ち向かうために必然的に「勉強のやり方」を身に着けていきます。ですから、勉強のテクニックには秀でています。しかし、北海道の子どもたちは、勉強の必然性の意識が絶えず希薄です。抛つて「勉強のやり方」をほとんど身に着けずにして大学に入学していく学生がたくさんいます。このことは、大学に入学してから大きく伸びる学生がたくさんいるということに繋がります。ただし、学生は個人の力だけではなくなかなか伸びていくことはありませんし、おかしな方向に伸びていくことがあります。ですから、北海道にあつて最も求められるべきものは、大学教員の「教育力」だと思つのです。原石を原石のまま投げばなしだくのも、原石を玉石に磨き上げるのも教員の「教育力」次第。大学は、学生の品質を保証して初めて社会的責任を果たしうるのではないかと思うのです。

外国語学部

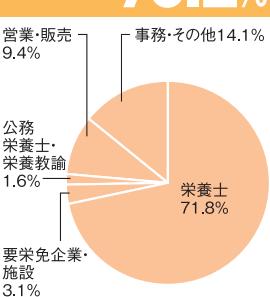
(英米語・中国語・日本語
コミュニケーション学科の就職率)

就職率
(2011年5月1日現在)
95.7%



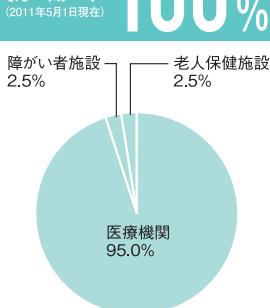
人間科学部 健康栄養学科

就職率
(2011年5月1日現在)
96.2%



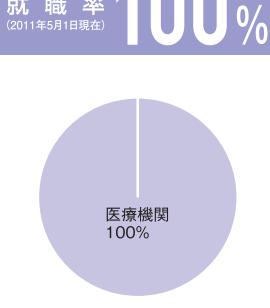
人間科学部 理学療法学科

就職率
(2011年5月1日現在)
100%



人間科学部 作業療法学科

就職率
(2011年5月1日現在)
100%



恵庭 ロータリークラブが 本学訪問

2011年4月20日、恵庭ロータリークラブの会員35名が本学を訪れた。本館十階の国際交流ホールで齊藤茂生会長の挨拶のあと、神谷外国語学部長と新田入試広報部長が歓迎の挨拶をした。そのあと管理課長・主幹の案内で音楽室・理学療法・作業療法実習室・図書館などを見学し、学生食堂で定食を味わい満足して帰られた。

恵庭ロータリーは創立60周年を昨年挙行した道内では有数の優良クラブである。本学との縁は5年前。大学院留学生に月16万円の奨学金を一年間支給する制度があり、今までは大きい大学の留学生が対象だった。北海道文教大に大学院が出来たことで地元を支援しようとすることになり、連続して4人の留学生が受給した。

ラブからの正式な申し込みがあった。学部長と事務が相談して日程を調整して実現したのである。



北海道文教大学は開学当初から恵庭市に対して、フラワーロードの花植え、小・中学校へのアシスタントティーチャー派遣、長寿大学への講師派遣、市民への図書館開放などを行ってきた。今回、地元の企業経営者、幼稚園園長などと交流することができることは意義深い。

地元に愛される大学をこれからも推進め、学生と市民の交流を発展させたい。

(外国语学部長 教授 神谷 忠孝)



人間科学部 健康栄養学科
教授
(管理栄養士国家試験対策室長)
中野 慶子

国家試験受験対策室について お聞かせ下さい。

国家試験の受験は、学生においては4年間の総まとめになると思います。学生だけではなく教授陣においても指導の成果を問われる事になるかと思われます。なにより学生においては人生を左右する挑戦ですから、一人でも多くの学生を「合格」に導くことは指導者としては至上課題です。また、合格率は大学の存在価値が問われる事にも繋がりますから、学生にモチベーションを与えて、全教員一丸となってあらゆる支援をして合格率向上にこだわっていきたいと思っております。

A Q₁ 担当教科目について お聞かせ下さい。

「臨床栄養学」を担当しています。学習内容は各種疾患の病態生理を理解し、それらに必要な治療的栄養食事療法について対象者に栄養教育が出来る能力を育てます。組成「フットロール」の理解や栄養ケアプランの作成を行う技術の習得も重要です。その他により重要な管理栄養士国家試験対策室長の業務として、一人でも多くの学生を「合格」へ導くという使命があります。

A Q₂ 先生の経歴を紹介下さい。

大学卒業直後、研究助手として大学勤務となり、それ以来長きにわたり大学教育一筋に携わってきました。その間、大手の給食委託会社の教育顧問も経験し、社会人の管理栄養士の国家試験の受験指導も行つて参りました。最近では薬剤師も生活習慣病や特定保健指導の説明が要求されており、認定資格取得の支援もさせていただいておりますので、社会がどのような人材を積極的に求めているかを充分理解しております。その重要なポイントを教育の中に生かしたいと思っています。

A Q₃ 学生を指導される上でモットーをお聞かせ下さい。

新たな地で教鞭をとることになりました。長い教職歴を振り返つてみると、入学する学生の気質に変化を感じます。多くは知識取得より高校歴に偏重してきた感があります。時代の流れの変化を受け止めながら、教壇に立つにあたり、次の4つの文字に気持を込めて学生に接したいと思っています。1.まず学生には無条件に私流の「愛」を注いで指導したいと思っております。愛は人の心を動かします。感動を受けたことも出来ます。そして愛が通じれば相手を敬い、尊重する姿勢が生まれます。2.そして学生には礼節を知る「礼」の気持ちを育てるも良いたいと思います。3.学生との間にシミヨーな関係が築ければこそ、「和」が生じ和やかな充実した気持ちになります。4.このような精神が形になれば成熟した美しい姿が「美」として出来上がり人として素晴らしいことです。この様な4つの心をプラスした文字は「徳」という文字になります。つまり人徳のある学生を育てたいと思います。4つの文字が持つ意味を心と体で理解出来る「徳」のある学生を育て、社会に送り出し活躍してもらいたいと思っております。

A Q₄ 担当教科目について お聞かせ下さい。

新たに地で教鞭をとることになりました。長い教職歴を振り返つてみると、入学する学生の気質に変化を感じます。多くは知識取得より高校歴に偏重してきた感があります。時代の流れの変化を受け止めながら、教壇に立つにあたり、次の4つの文字に気持を込めて学生に接したいと思っています。1.まず学生には無条件に私流の「愛」を注いで指導したいと思っております。愛は人の心を動かします。感動を受けたことも出来ます。そして愛が通じれば相手を敬い、尊重する姿勢が生まれます。2.そして学生には礼節を知る「礼」の気持ちを育てるも良いたいと思います。3.学生との間にシミヨーな関係が築ければこそ、「和」が生じ和やかな充実した気持ちになります。4.このような精神が形になれば成熟した美しい姿が「美」として出来上がり人として素晴らしいことです。この様な4つの心をプラスした文字は「徳」という文字になります。つまり人徳のある学生を育てたいと思います。4つの文字が持つ意味を心と体で理解出来る「徳」のある学生を育て、社会に送り出し活躍してもらいたいと思っております。

■健康栄養学科

新卒88名が国家試験突破

第25回管理栄養士国家試験が平成23年3月20日(日)に実施され、その結果が、この5月9日(月)に厚生労働省から発表されました。本学からは、既卒者と新卒者を合わせて93名の合格者を輩出することができました。この1大学当たりの合格者数93名は北海道で第1位、全国では第13位に相当します。また、新卒者の合格者は全国で6,320名、本学で88名でした。この88名は北海道で第1位、全国では第14位に相当し、本学で健康栄養学科の卒業者を出してから最高の新卒合格者数です。



受験者は講習会(82回)や学内外の模擬試験(10回)、強化プロジェクト学習(10回)などの国家試験対策に積極的に取組んで徐々に力を付け、学科教職員全員はこの対策に対して情熱をもって協力して来ました。前半の模擬試験ではなかなか思うような成果が得られず、自分自身の学習計画に試行錯誤したが、最後は見事に良い結果を得て、かなり苦労したであろうと思えるなど、学生の成長を見ることができました。

この体験が今後それぞれの専門職の現場での基礎となって活躍されることを願っております。

■理学療法学科

第4期生のゼミの配属決まりました!

大学としての就学指導は各学科のアドバイザーグループ担当教員によって行われていますが、本学科では3・4年生は理学療法専門領域・分野別にセミグループに分かれ、そのグループの指導教員が就学指導、臨床実習における精神的・実務的指導および国家試験対策および就職相談等、卒業時まで細かく対応しております。



セミグループの配属は毎年、学生の希望をもとに、5月の連休前に決定し、掲示板で発表しますので、この時期は3年生および4年生の間ではどのグループに入れたかという話題で盛り上がるようです。

ゼミの利点は、学生が比較的少人数であるために、教員は個々の学生の性格や学習能力・姿勢がより把握しやすく、学習指導も個々の学生に合わせて適切な対応ができることがあります。また、ゼミ内では、3年生と4年生との交流もあり、教員や先輩と気兼ねなく相談できるので、学生にとってゼミはアットホームなところと思っているようです。

また、ゼミの目的は理学療法専門領域・分野における卒業研究であり、その研究期間に学生は自主的に考え、研究を遂行し、充実した日々を感じているようです。既に第1期卒業生の10名程は、卒業研究で培った能力を發揮して昨年、日本あるいは北海道理学療法学会で研究発表をしています。中安恭平(北海道理学療法学会)、蒲田綾香(北斗病院)は昨年度の北海道理学療法学会において見事、口述発表、ポスター発表でそれぞれ優秀演題賞を受賞しております。

小さなゼミグループの力ではありますが、本学の今後の発展に一步二歩と寄与しつつあります。

■作業療法学科

作業科学セミナー開催（主催 作業療法学科）

5月11日～12日の2日間にわたって、英國カーディフ大学講師のディキオス氏を講師に作業科学セミナーが開催されました。このセミナーの講師のディキオス氏は札幌医科大学保健医療学大学院の修士過程の卒業生で、その関係もあってカーディフ大学、札幌医科大学と北海道文教大学の3大学で、英國サカワ財団の助成を受けて、今回、作業科学セミナーを実施する事ができました。

作業科学は近年、人間作業モデルとならんで作業療法理論として国内でも研究、実践が報告されている比較的新しい作業療法の理論研究です。人間科学部作業療法学科では向井准教授、渡邊教授らがこの研究を進めているところです。受講した学生の多くは作業療法学科の学生で、初日は「作業科学:その理論と実践」というテーマで90分の講演を行い、第2日目はセミナーを中心に、演習とディスカッションを行い、理論と実践について学習する事ができました。この後、札幌医科大学でも同様な講演とセミナーを行い成功裏に作業科学セミナーを終える事ができました。終了後のアンケート調査からも作業科学について理解が広がってよかったというポジティブな意見が多く寄せられ、学科の教育的なプログラムとしての有意義な2日間でした。



■こども発達学科

教員採用候補者選考検査に向けての講座の開催

こども発達学科では、一回生が2年生に進級したのを機に、進路・就職に向けての具体的な取り組みが始まりました。小学校教員又は特別支援学校教員を目指す学生が30余名いることから、5月より上記講座を開設したことです。

月2回程度で年間15回実施する計画です。主な講座内容は、以下の通りです。

- 選考検査の仕組みの理解
- 教養検査（一般・教職）、専門検査（小学校、養護〈特別支援教育〉）の出題傾向の把握
- 学習計画表づくり
- 小学校専門に関する準備と学習の仕方
- アピール力を磨く（講話）と面接検査（個人、集団）の内容、資質の形成
- 指導案に基づく模擬授業のやり方
- 教科等指導法に関する記述検査の内容と学習の仕方

担当教員は、過去に本検査を作成したり、面接官を務めた教員を中心に組織されました。

また、講座の受講は、①登録制とし、無断で欠席・遅刻の場合は、登録を抹消します。②講座には、各自主的に臨み、予習復習を怠らない、などの約束を取り決め、緊張感を伴った中でスタートしました。

来年度、3年生に向けての講座は、面接検査、模擬授業、教科等指導法記述式検査などの内容を重点的に行い、自己表現力を高めるための、より実践的な内容で行う計画です。また小学校外国語活動に係る英語のリスニング検査の内容も含める予定です。



■看護学科

1年生から4年生まで

看護学科の4年生は、看護学臨地実習、看護研究、就職活動、国家試験を四本柱として最終学年の大学生活を送っています。2年次の基礎看護学実習と3年次の6科目の臨地実習を終え、4年生の看護学臨地実習では、老年看護学実習Ⅱ、精神看護学実習、地域看護学実習Ⅱ、そして継続統合看護学実習の8週間の臨地実習を学習しています。4年生の臨地実習では患者さんの深い思いを知り、社会復帰に向けた生活技能訓練に寄り添い、そして療養しながら自宅で暮らし続けていく生活場面に出向き、知識を基に看護の実践経験を積み重ねています。さらに複数の患者さんを受持ち、看護職の一員としての自覚と専門職としてのチーム医療の学習として、継続統合看護学実習で学んでいます。

4年生は国家試験の合格を目指しながら、臨地実習に対して真摯に取り組み、学習量の多さに開口しながらも、学習の喜びと同時に患者さんの苦悩がわからぬほど自分の無力さを感じています。3年生は4年生の学習する姿勢を身近で見聞きし、学習の大切さを痛感し、今まで以上に講義と演習に真面目に取り組んでいます。もちろん、1年生と2年生も先輩たちの学習に対する取り組み方を肌で感じ取り、看護技術の演習では、実習室で何度も繰り返しながら看護技術の習得に励んでいます。

1期生として入学した4年生は入学時に看護学科の先輩がいないためか、自由奔放に大学生活を送っていました。しかし、多くの臨地実習を重ねる中で、患者さんや看護職を始めとする医療スタッフからの厳しさと優しさのぎっしりと詰まった言葉を受け止め、近い未来の看護職の一員として人間性豊かに成長しています。

■国際言語学科

国際言語学科新入生歓迎会＆東日本大震災チャリティー・オークション開催！

「新学科・国際言語学科の新入生の歓迎会って、あるんですか？ もしないなら、ぜひ自分たちがやってあげたいんです！」という外国語学部の先輩・4年生たちのアツい思いが実り、4月13日午後、本学学生食堂にて、国際言語学科の第2期生を熱烈歓迎する新入生歓迎会が盛大に開催されました。歓迎会では、岡本学科長の楽しい歓迎のあいさつのあと、新入生を含む参加者は、テーブルに盛られた食事をとりながら、胸につけた「なふだ」を見て名前を呼びあい、和気あいあいとコミュニケーションをとりあいました。そして前方のステージでは、新入生を歓迎する先輩たちのバンド演奏、留学生による内モンゴルの幻想的なダンス、かくし芸（手を使わずにジャージをはく！）などのパフォーマンスが行われました。

歓迎会のあとは外国語学部「第1回東日本大震災チャリティー・オークション」が行われました。外国語学部3年生の菊池君・中林君の名司会のもと、先生や学生たちが持ち寄った品々もどんどん高値がつき、なかでも本学教員の渡部先生が出品された写真（昨年フォトコンテストでグランプリを受賞）が次々と最高値（1,000円）で落札されました。売上げは全額、本学友会を通じて東日本大震災義援金に寄付されました。出品してくれたみなさん、落札してくれたみなさん、ありがとうございました。第2回以降も開催していくたいと思っています。



ニュージーランドでの被災を振り返って。

本校3年生の阿倍 華永さんが語学研修を兼ねたニュージーランド留学へと旅立ち一ヶ月が経ち、現地での生活にも慣れた頃であろうと思っていた2月22日、クリストチャーチ郊外でマグニチュード6.4の大地震が起きたとの報道がありました。テレビ映像で報道される現地での惨状は目を覆うもので、緊急メールを入れて確認をとりました。幸いにも本人から直接連絡があり、無事を確認する事ができ、保護者・学校関係者全員は安堵いたしました。比較的落ち着いて語ってくれた現地での様子は以下のようでした。

「留学先の高校で授業を受けている最中に大地震がおきました。あまりに大きな揺れだったので全校生徒1,700人がグラウンドに避難し、その日は急遽帰宅となりました。私はホームステイ先で夕方まで一人でホストファミリーの帰りを不安な気持ちで待っていました。ファミリー全員の安否が確認でき、互いに抱き合って無事を喜び、後は涙で言葉になりませんでした。それから二週間、学校は閉鎖されることになりました。クリストチャーチ中心部では揺れがとても強く、有名な大聖堂や周辺建物は殆んどが崩壊してしまいました。三週間前まで、私も通っていた語学学校はそこから100メートルも離れていたので、私も瓦礫の下敷きになっていた可能性を思うと、とても他人事には思えませんでした。ホストファザーのオフィスもすぐ近くにあり、彼の同僚は完全に崩壊したビルで亡くなりました。ホストファザーは幸いにも地震が起きる5分前に仕事で外出したために助かったそうです。〈中略〉想像を絶するあのような状況の中、私やホストファミリーそして友人も無事に再会できたのは本当に奇跡としか言えません。思い出すだけで心が痛むような惨劇を、私は二度と体験したくないです。しかし、自然災害はいつ再びやって来るか分かりません。現地にて命を落とされた日本人留学生の多くの皆さんの無念を思い、私は今この瞬間、人ととの出会いを大切に感じ、悔いなく多くのことにチャレンジしていきたいです。」

阿倍さんの貴重な体験から程なく、日本でもの大震災が起きました。未曾有の大災害は、やはり体験された人々の脳裏にしか鮮明に記憶されないものかも知れません。阿倍さんは辛く悲しい記憶に負ることなく、生かされている今の自分の気持ちを気丈に話してくれました。誰もが経験したくない出来事ですが、阿倍さんのこれから前途に大きな影響を与える出来事であったのは言うまでもありません。我々関係者は静かに、慎重に成長を見守っていきたいと思います。

吹奏楽部が発足しました

吹奏楽部部長 3年2組 今泉 涼

昨年度まで活動してきた JAZZ 研究部は、今年度から吹奏楽部として新たに活動を始めました。明清高校吹奏楽部は現在三年生二名、二年生四名、一年生六名の十二名で活動しています。吹奏楽部としてはまだまだ少人数ですが、質の高い演奏を目指して日々練習に励んでいます。

練習日は毎週月曜日から土曜日の六日間で、現在は高文連石狩支部演奏会と明清祭に向けて練習しています。高文連はたくさんの学校が参加する大きな演奏会なので絶対に成功させたいです。そのためにも一日一日の練習を大切にしたいと思います。また、明清祭は今年から一般公開が行われるので、より多くの人に楽しんでいただけるように曲選びを工夫しました。三年生にとっては最後の明清祭なので、悔いのない演奏をするため精一杯練習します。

来年度はたくさんの新入部員とともに多くの演奏会に参加したいと思っています。そして将来的には実力をつけて、毎年夏に行われる吹奏楽コンクールに出場したいです。



附属幼稚園の親子遠足

6月3日金曜日、附属幼稚園では、親子遠足で円山動物園に行きました。前日が雨模様だったので天候が心配でしたが、大型バス3台で動物園に着く頃にはとても良い天気になりました。パパ・ママと手をつないで、動物たちを見て回ります。親子のいい場面を写真に撮ろうと思っても、子どもと動物とのシャッターチャンスを狙うパパ・ママたち。動物園は、動物を見るだけでなく、動物のにおいも体験できる場でもあり、親子で「臭い！」。親同士で話しながら歩いているその後ろで、子ども同士で仲良く手をつないでいる子どもたちも。幼稚園の行事は、子どもたち同士の様子を保護者が知る機会です。と同時に保護者同士が触れ合ったり仲良くなったりする機会もあります。



お弁当を食べる場所を確保し荷物を置いたクラスから、ちょっとしたゲームをしました。本当に嬉しそうな子どもたちの笑顔・笑顔。パパの参加も例年より多いようです。大人同士も、子どもが附属幼稚園の園児同士という縁で親しくなり、様々な体験や学びがあればと願っています。そうそう、今年の附属幼稚園には、「親父の会（仮称）」ができました。どのような楽しい出会いや取り組みが生まれるか、乞うご期待。



同窓会の今から

文教大学同窓会「つるの会」会長 後藤田 倫子

「かの蒼空にまして大なるもの何処にあるべしや」

初めまして、この4月より前北崎迪子様より同窓会の会長を引き継ぎました後藤田と申します。札幌から500キロほど離れた道東の北見に居住しております。

交通的に中々不便ではありますが決心して大役をお引き受けいたしました。

同窓会では各地域に支部を置いております。この道東にも栄養学校時代から栄養短大そして文教の卒業生がいろいろな分野で活躍しております。

支部会では年1回持ち回りで研修会と交流会を実施しております。本年は9月に釧路で開催予定です。多くの同窓生の方にお集まりいただくうれしく思います。

また毎年大学祭への協力・卒業式の折には懇親会で同窓会の入会式を行い後輩たちにエールを送ることにしています。もう1つ同窓会では各学部各学科に「教育研究助成金」という制度を設けております。これは学生・同窓生が独自に研究や調査など個人または各学部のスキルを上げるための資金を提供しようとするものです。大いにこの資金を利用していただきたいと考えております。

年若き旅人よ 何故に そう うつむきて辿りたもうや
目を上げたまえ 常に高きを見給え かの蒼空にまして大なるもの何処にあるべしや ~石川啄木友人への手紙から~

同窓会はいざれ社会へ巣立つであろう多くの後輩たちの支援者になりたいとエールを送ります。

北海道文教大学後援会の事業活動報告

北海道文教大学後援会会長 遠山 英行

日頃、会員の皆様には後援会活動に対してご理解とご協力を頂いておりますことを心よりお礼申し上げます。

伊藤 前会長から後任を託され、総会と役員会で承認を頂き新会長となりました。

何分にも不慣れで会長という要職に就くのは身の丈に余るもののがございますが、副会長以下理事の皆様のお力添えを頂きながら頑張る所存ですのでよろしくお願ひ申し上げます。役員のなり手がいない状況の中で、大学側のご協力により新執行体制が整い、過日6月3日に第1回の役員会を開催することができました。後援会役員活動は正にボランティアそのものですが、改めて役員に就かれた皆様には感謝申し上げると共に、より積極的な後援会活動への参画をお願いしたところです。

後援会は皆様からお預かりした会費を元に年間3,700万円の予算で、学生に対して有効となる様々な事業を展開して、大学の発展充実に寄与すべく活動しているところです。

今年度の事業活動の一端をご紹介しますと、基本的な予算の枠組みは22年度同じであります。予備費として例年より多くの予算を計上し、サークル会館竣工対策や後援会文庫の更なる充実、鶴岡夫妻銅像関連、その他突発的事由等へ柔軟に対応できるようにしています。また平成24年度は鶴岡学園創立70周年となる節目の年であることから「後援会活動調整基金」も継続させています。また昨年度に引き続きキャンパス・ウォッキングを行います。学生の生活ぶりを直接見ることで、今すぐ行わなければならぬ事や将来的展望に立った支援策の洗い出し、学生側との懇談により日頃の活動では見いだせない問題点を探る事等を目的として役員が大学へ出向いて行くものです。

「父母懇談会」につきましては本学と地方会場2開催の計3回を予定しております。多数のご参加をお待ちしております。

吹奏楽部に対する楽器購入のための多額な補助に関しては、22年度学位記授与式や23年度入学式でその爽やかな音色を聞かせて頂きましたことで、費用対効果が実感でき、後援会事業として久々のヒットだったと安堵の胸をなで下ろしているところです。

学生や大学にとって有益となる事業とは何なのかという視点に立って、大学側と連携を密に取りながら、学生に実り豊かなキャンパスライフを送っていただけるように、会員の皆様や学生の要望事項を反映させた後援会活動を行っていきたいと考えております。皆様のより積極的な関わりをお願い申し上げます。

人事

退職〔平成23年3月31日付〕

事務局

岡崎 吉博（総務部 総務主幹）

加藤 義久（総務部 管財主幹）

零石 雅信（総務部 管財課ボイラー技師兼用務員）

山崎 勝彦（総務部 管財課ボイラー技師兼用務員）

金山 律子（総務部 管財課清掃員）

大藤 昭（学務部 学務部次長兼任学生課長）

長尾 義昭（学務部 学生主幹）

猪狩 友絵（学務部 学生係員）

佐藤 清一（学務部 図書主幹）

菅原 恒子（学務部 図書係長）

野村 直樹（就職部 就職部長兼任職課長）

瀬能 均（短期大学部 札幌キャンパス事務長）

高野 敏彦（高等学校 事務長）

北海道文教大学 外国語学部

鈴木 明美（国際言語学科 教授）

北海道文教大学 人間科学部

大久保 岩男（健康栄養学科 教授）

齊藤 郁子（健康栄養学科 講師）

菅原 千鶴子（健康栄養学科 講師）

西尾 久美子（健康栄養学科 講師）

佐々木 鐵人（理学療法学科 教授）

松本 博之（理学療法学科 教授）

深澤 孝克（作業療法学科 教授）

陳 敏（作業療法学科 助手）

深澤 圭子（看護学科 教授）

北海道文教大学短期大学部

上羽 緑（幼児保育学科 教授）

川越 守（幼児保育学科 教授）

開沼 英則（幼児保育学科 講師）

清水 貴子（幼児保育学科 講師）

北海道文教大学明清高等学校

秋山 朋美（実習助手）

久末 大介（教諭）

細川 なほみ（教諭）

宮本 憲剛（教諭）

採用〔平成23年4月1日付発令〕

事務局

伊藤 隆一（総務部 総務主幹）

浅井 敬太（総務部 総務係員）

中村 昌則（総務部 会計主幹）

稻川 寛（学務部 学生主幹）

池田 祐士（学務部 学生係員）

田口 晃（就職部 就職主幹）

北海道文教大学 人間科学部

賀來 亨（健康栄養学科 教授）

澤田 幸治（健康栄養学科 教授）

伊藤 潤（健康栄養学科 准教授）

山田 美智子（健康栄養学科 講師）

松本 洋子（健康栄養学科 講師）

田邊 芳恵（理学療法学科 准教授）

森永 幸子（理学療法学科 助教）

矢口 智恵（理学療法学科 助教）

高田 雄一（理学療法学科 助教）

坪田 貞子（作業療法学科 教授）

井上 由紀子（看護学科 教授）

佐々木 聖子（看護学科 教授）

松尾 良子（看護学科 講師）

中澤 洋子（看護学科 助教）

小野 由恵（こども発達学科 講師）

中野 慶子（管理栄養士国試験対策室長・教授）

原谷 珠美（看護学科 准教授）(4/15付)

三上 勇気（看護学科 講師）(4/15付)

増田 有香（看護学科 助手）(5/6付)

北海道文教大学 明清高等学校

中山 梨那（教諭）

閔 崇（教諭）

中村 亮太（教諭）

山口 仁美（実習助手）

昇任〔平成23年4月1日付発令〕

北海道文教大学 人間科学部

池野 秀則（理学療法学科 准教授）

橋田 浩（理学療法学科 講師）

北海道文教大学 外国語学部

荒井 真一（国際言語学科 講師）

平岡 英樹（国際言語学科 講師）

北海道文教大学 人間科学部

小田 進一（こども発達学科 准教授）

工藤 恒子（こども発達学科 助教）

再雇用〔平成23年4月1日付発令〕

事務局

加藤 義久（総務部 管財課長）

零石 雅信（総務部 管財課 ボイラー技師兼任務員）

大藤 昭（学務部 学務部次長兼任学生課長）

菅原 恒子（学務部 図書係長）

野村 直樹（就職部 就職部長兼任職課長）

瀬能 均（高等学校 事務長）

北海道文教大学 人間科学部

西尾 久美子（健康栄養学科 講師）

佐々木 鐵人（理学療法学科 教授）

松本 博之（理学療法学科 教授）

異動〔平成23年4月1日付発令〕

事務局

三上 優巨（総務部 総務係長）

武井 正信（学務部 学生係員）

北海道文教大学 外国語学部

荒井 真一（国際言語学科 講師）

平岡 英樹（国際言語学科 講師）

北海道文教大学 人間科学部

小田 進一（こども発達学科 准教授）

工藤 恒子（こども発達学科 助教）

平成22年度 鶴岡学園事業報告

I 法人の概要

(A) 設置する学校・学部・学科等の入学定員・学生数の状況(学校法人基礎調査抜粋)			(単位:人)
学校名	学部・学科・課程名等	入学定員(H22.4.1)	H22.5.1
北海道文教大学	大学院 グローバルコミュニケーション研究科 中国語コミュニケーション専攻	5	11
	外国語学部 国際言語学科 英米語コミュニケーション学科 中国語コミュニケーション学科 日本語コミュニケーション学科	100	411 84 106 67 154
	留学生別科	募集停止	0
	人間科学部 健康栄養学科 理学療法学科 作業療法学科 看護学科 こども発達学科	430 150 80 40 80 80	1,536 597 398 192 283 66
	幼稚保育学科	募集停止	39
	普通科 食物科	160 50	369
	北海道文教大学短期大学部附属幼稚園		80 (総定員)
	総計	825 (幼稚園総定員含む)	2,444

(B) 役員・教職員の概要

1. 役員(平成23年5月1日現在)
 【理事長】鈴木 武夫 近藤 文衛 北崎 迪子 浅見 晴江 水上 寛
 【理事】伊藤 雅夫 鈴木 豊
 【監事】浅川 修二

2. 教職員(人件費総割抜粋)

		専 任				非常勤					
		大 学	短 大 部	高 校	幼 稚 園	計	大 学	短 大 部	高 校	幼 稚 園	計
教員	H22.5.1	113	8	27	5	153	88	4	9	2	103
職員	H22.5.1	42	5	5	0	52	13	2	2	0	17

II 事業の概要

(A) 当該年度の事業の概要・計画・進捗状況

*平成22年予算編成方針に基づき、次のことを実施した。

1. 教育研究体制について

少子化の進行に伴い、私学の運営は益々厳しさを増しているが、実学重視の特色ある教育の基本方針を踏まえ教学組織の拡充を図り、平成22年度は次の学科の設置を行った。

(1) 北海道文教大学の学科の設置

- ① 外国語学部に学科設置
① 平成22年4月に届出申請により「国際言語学科」を設置した。
- ② 人間科学部に学科設置
① 平成22年4月に設置申請により「こども発達学科」を設置した。

2. 財政確保について

(1) 北海道文教大学(大学院を含む)

- ① 外国語学部は、3学科(入学定員140名)を「国際言語学科」1学科(入学定員100名)に改組設置した。初年度で学生募集の時期が遅くなり、その結果本年度入学生は84名で入学定員を確保するに至らなかった。
- ② 人間科学部に入学定員80名のこども発達学科を設置した。初年度で学生募集の時期が遅くなり、その結果本年度入学生は66名で入学定員を確保するに至らなかった。
- ③ 今年度も科学研究費補助金に個人応募し、2名が採択された。また、研究分担者は2名で研究費を分配された。

(2) 北海道文教大学短期大学部

- 平成22年4月に短期大学部幼稚保育学科を改組し、4年制のこども発達学科を設置したことにより、今年度の学生募集を停止した。したがって、2年生39名の学納金があった。

(3) 北海道文教大学明清高等学校

- 高大連携を強化し、普通科に「看護医療進学」「文系進学」「保健福祉」「サッカー」の4つのプログラム学習に「食物科」を併せて改組し教育内容を充実して3年目を迎えたが、本年度の入学生は106名で入学定員を確保するに至らなかった。
- 全道的な中学生の減少するなか、札幌南区は人口流失の傾向も止まず、卒業生の減少も著しいものがあり、本校はその現状を踏まえ平成23年4月に生徒の入学定員を普通科160名から120名、食物科50名を40名に定員減を図り、少数徹底教育で教育内容の充実を計り、積極的な生徒の定員確保に努める。

(4) 北海道文教大学短期大学部附属幼稚園

- 昨年度から園児の送迎範囲を拡大したので、その効果を高めるために平成22年度も特色ある園児募集のPRに工夫を加え、継続して新入園児の確保に努め諸納金の増加を図った結果定員80名のところ園児は80名となった。

3. 支出について

(1) 人件費

- 本学園は、平成21年度は、看護学科の教員7名を採用、退職者は15名で人件費比率(対帰属収入)が53.7%と前年度より低下した。
- 平成22年度は外国语学部の教員1名・看護学科12名・こども発達学科10名・健康栄養学科3名・理学療法学科2人を採用し、退職者は22名で教職員の適正配置を図った結果、学科設置及び前年度より教員の出入りが多く教職員が増えている中、作業療法学科・看護学科で144名の学生純増があり人件費比率は51.4%に低下した。

学科の設置で相対的に教育職員が増えている状況の中、近々年に人件費比率(対帰属収入)が50%以内になるように努力する。

(2) 一般経費

- 本学園の予算是予算要求・配当部門である北海道文教大学、北海道文教大学短期大学部、北海道文教大学明清高等学校、北海道文教大学短期大学部附属幼稚園及び事務局からの予算要求及びヒアリングを経て配当される。配当された経費の使用については、効率的に費用対効果を考慮し必要最小限で留め節約に努めた。さらに収入・支出のバランスは原則として学校別(部門別)の独立採算制に努めた。

(3) 特別・企画事業

- 平成22年4月設置の外国语学部「国際言語学科」及び人間科学部「こども発達学科」の申請及び認可

1. 外国語学部「国際言語学科」設置の内容は下記のとおりである。(新規事業)

- ① 学部・学科名:外国语学部「国際言語学科」(3コース・6トラック)
- ② 英語コース
- ③ 中国語コース
- ④ 日本語コース

② 入学定員:100人

③ 設置年月日:平成22年4月1日

④ 設置場所:恵庭キャンパス

⑤ 教員組織:10人以上【文部科学省設置基準】

2. 人間科学部「こども発達学科」設置の内容は下記とおりである。(新規事業)

- ① 名称:人間科学部「こども発達学科」
- ② 入学定員:80人
- ③ 設置年月日:平成22年4月1日
- ④ 設置場所:恵庭キャンパス
- ⑤ 教員組織:10名以上【文部科学省設置基準】

(B) 各部署で具体的な事業として次ぎのことを行った。

事務局(法人)

(1) 鶴岡学園寄附行為の変更・登記を行った。

- ① 外国語学部国際言語学科・人間科学部こども発達学科の設置に伴う登記事項変更登記完了届の提出
- ② 学校法人鶴岡学園役員変更届の提出

(2) 特別事業等として実施した事項

1. 人間科学部実習室関係改修工事

- ① 工事名:給食経営管理実習室・周辺施設改修工事
- ② 工事内容:施設設備関係及び厨房機器関係

2. 図書館等改修に伴う工事

- ① 保健管理センター、カウンセリングルームの移転・改修
- ② 新閲覧室の増設(40席)
- ③ 開架書架の設置変更による閲覧席の増設(24席)

3. 短期大学部の配管整備(新規事業)

- 札幌キャンパス短期大学部の1・2号館の配管整備工事を行うものであり、工事の内容は下記のとおりである。

- ① 名称:札幌キャンパス配管整備事業

*札幌キャンパス2号館1階天井・吸水管更新工事を行った。

*札幌キャンパス2号館PS内給水管更新工事を行った。

② 本事業は平成21年度から平成23年度の3ヵ年計画で実施

(3) 一般事業

1. 総合事務(学務)システムの更新

2. 自動証明書発行機の設置

3. 公開講座

北海道文教大学及び短期大学部並びに明清高等学校における公開講座を実施した。

近郊の一般市民を対象とした公開講座を実施して「生涯学習」の機会を提供した。「公開講座」「子育て支援」等の実施は、社会が大学に強く求めていることであり、本学の広報活動にもつながり学生確保に効果が期待できる。

(4) 学生確保・就職支援及び学生支援に関する事業

1) 学生募集に伴う地方駐在員の配置

- 平成22年度も文教大学の学生確保につなげる為、旭川、北見、帯広の3か所に委託駐在員を配置した。各地域にある高等学校を巡回し、本学の設置位置・環境、設置部・学科、教育研究、取得可能な資格、学生生活等現況を説明しPRに努め、特に高等学校の進学担当者とコミュニケーションを深め、学生募集を図った。

- 2) 文教大学オーブンキャンパスの実施及びテレビ・新聞・各種受験雑誌・公共交通機関等を媒体としたPRを実施した。

- 3) 文教大学の父母懇談会を実施した。

- 4) 文教大学及び学部の学生の就職支援活動・就職セミナーを実施した。

- 5) 文教広報第24・25号を発行した。

- 6) 海外協定校等交流促進センターの設置及び留学生海外拠点事務所を「東京・東京外國語对外貿易大学南国商学院」「韓中学院」「吉林財經大学」の3カ所に設置し、留学生の確保に努めた。

(5) 北海道文教大学及び大学院の自己点検・評価

本学は平成19年4月に第1回認証評価を受け、今年度第2回認

証評価を受けるために文教大学・大学院で自己点検・評価を実施し調査を提出した。その結果大学基準協会の大学基準に適合しているものと承認された。認定期間は平成23年4月より平成30年3月末日までの期間とされた。

(6) 鶴岡学園及び北海道文教大学等の諸規程の制定及び改正

1) 諸規程の制定

- ① 北海道文教大学奨学金給付規程
- ② 北海道文教大学子育て教育地域支援センター規程
- ③ 北海道文教大学子育て教育地域支援センター運営委員会規程
- ④ 北海道文教大学教員の研究費の重点配分に関する申合わせ
- ⑤ 学校法人鶴岡学園育児休業・介護休業等に関する規程
- ⑥ 学校法人鶴岡学園旅費規程

2) 諸規程の一部改正

- ① 学校法人鶴岡学園寄附行為施行細則
- ② 学校法人鶴岡学園組織規程
- ③ 学校法人鶴岡学園事務分掌規程
- ④ 学校法人鶴岡学園職員給与規程
- ⑤ 学校法人鶴岡学園公印取扱規程
- ⑥ 学校法人鶴岡学園経理規程
- ⑦ 北海道文教大学短期大学部の廃止に伴う各種規程の廃止・一部改正
- ⑧ 北海道文教大学学則
- ⑨ 北海道文教大学大学院学則

(7) 平成23年度以降に向けての当面の課題

平成23年度は、昨年度に引き続き財政の安定化に向け、学園・学部・学科全般の管理運営の見直しを行い、さらに学生の定員確保に全学一丸となって邁進する。

收入面では、大学の管理運営及び学部・学科組織等の自己点検・評価を行い、本学の特色である「実践教育」を通して学生の確保につなげた授業料収入を増額し、科学研究費等公的補助金の確保を含めて増収を図る。支出面では各部局から提出された予算要求書に基づき、厳正なヒアリングを行い精査の結果、必要不可欠な予算配分に止め、経費を効率的に執行し節約に努める。昨年度に引き続き、事務職員の資質向上を目指して計画的に研修を実施する。また、国家試験の合格率を高めるため、対策の強化を図る。

具体的な事項として次のことを実施する。

- 1) 各学部・学科とも、限られた18歳人口から本学に入学した学生に、親切・丁寧に真摯な姿勢で向き合い、大学生活全般の視点から魅力のある学部・学科を目標に教育の質の向上・充実を図ることが最大の重点目標である。
- 2) 少子化に伴う学部・学科の縮小に因る人員削減に因る問題を解決する。
- 3) 経常経費特別補助金を確保するため積極的に応募申請する。
- 4) 平成23年度も教育職員に対し、共同研究費及び研究費の傾斜配分を実施する。
- 5) 各学部との連携を図り本学の国家試験取得等の特色をPRし、学生募集・確保に全教職員が協力・参加する。
- 6) 文教大学において教育職員・事務職員が一体となって就職活動の強化を図る。
- 7) 公的機関である大学は社会に対して情報を提供する事が問われており、平成23年度から教育情報の公開が定められ、ホームページ等で公開する。
- 8) 平成23年度の最重要課題として国家試験対策を掲げ対策室を開設し、合格率の向上を図る。
- 9) 教職員の海外研修制度を創設し、1人1人の職員の能力向上を図る。
- 10) 将來の学生確保対応として、人間科学部に留学生受け入れ可能な事前調査として、本学で修得した知識・資格等が母国でどのように利活用できるか調査を行う。
- 11) 学生により良い教育環境を提供するため8号館及びサークル会館を建設する。
- 12) 事務組織を充実し、事務職員を対象に今後学内研修を計画的に行い、関係機関での研修に積極的に参加させる。
- 13) 明清高等学校での生徒の確保及び文教大学への進学指導

III 財務の概要

平成22年度の財務概況報告

(1)資金収支計算書(法人総括)

(単位:千円)

(単位:千円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,572,325	2,567,416	4,909	人件費支出	1,588,191	1,584,703	3,488
手数料収入	55,636	55,920	△284	教育研究経費支出	572,005	575,207	△3,202
寄付金収入	1,000	1,000	0	管理経費支出	194,619	187,939	6,680
補助金収入	340,126	345,898	△5,772	施設関係支出	39,486	40,442	△956
資産運用収入	6,621	6,573	48	設備関係支出	123,617	123,919	△302
事業収入	10,073	9,784	289	資産運用支出	300,000	300,000	0
雑収入	90,051	88,893	1,158	その他の支出	43,793	45,054	△1,261
前受金収入	579,825	603,721	△23,896	予備費	(22,000) 8,000	0	8,000
その他の収入	56,711	51,944	4,767	資金支出調整勘定	△77,038	△96,871	19,833
資金収入調整勘定	△670,612	△663,356	△7,256	当年度資金支出合計	2,792,673	2,760,393	32,280
当年度収入の部合計	3,041,756	3,067,793	△26,037	次年度繰越支払資金	2,861,803	2,920,120	△58,317
前年度繰越支払資金	2,612,720	2,612,720	0	支出の部合計	5,654,476	5,680,513	△26,037
収入の部合計	5,654,476	5,680,513	△26,037				

資金収支計算書の概要

平成22年度決算における収入の部では、学生生徒等納付金収入25億6,741万6千円、補助金収入3億4,589万8千円、前受金収入6億372万2千円など収入合計は30億6,778万1千円となり、これに前年度から繰越した支払資金26億1,272万円を加え、収入の部合計は56億8,050万1千円となりました。

一方、支出の部では、人件費支出15億8,470万3千円、教育研究経費支出5億7,520万7千円、資産運用支出(第2号基本金積立)3億円などの支出により、合計27億6,039万3千円となり平成23年度の支払資金として29億2,012万円を繰り越すこととなりました。

(2)消費収支計算書(法人総括)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

消費収入の部				消費支出の部				収支差額			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	2,572,325	2,567,416	4,909	人件費	1,582,536	1,586,758	△4,222	帰属収支差額	426,904	404,867	22,037
手数料	55,636	55,920	△284	(退職給与引当繰入額)	(34,400)	(68,673)	(△34,273)	当年度消費収入超過額	11,284	21,632	△10,348
寄付金	9,656	13,382	△3,726	教育研究経費	847,903	855,461	△7,558	前年度繰越消費支出超過額	1,540,083	1,540,083	△0
補助金	340,126	345,898	△5,772	(内減価償却額)	(275,897)	(278,101)	(△2,204)	基本金取崩額	0	38,127	△38,127
資産運用収入	6,621	6,573	48	管理経費	222,924	215,924	7,000	翌年度繰越消費支出超過額	1,528,799	1,480,324	△48,475
事業収入	10,073	9,784	289	(内減価償却額)	(28,305)	(27,927)	(378)				
雑収入	90,051	88,901	1,150	資産処分差額	541	20,354	△19,813				
帰属収入合計	3,084,488	3,087,874	△3,386	徴収不能額	0	40	△40				
基本金組入額合計	△415,620	△383,235	△32,385	徴収不能引当金繰入額	3,680	4,470	△790				
消費収入の部合計	2,668,868	2,704,639	△35,771	予備費	(20,000) 0	0	0				
				消費支出の部合計	2,657,584	2,683,007	△25,423				

消費収支計算書の概要

平成22年度決算における帰属収支差額は4億486万7千円となり、帰属収支額比率は13%となりました。また、帰属収支の均衡状態を示す当年度消費収入超過額は、消費収入の部27億463万9千円と消費支出の部26億8,300万7千円の差額で表され、2,163万2千円の収入超過となりました。

(3)貸借対照表

資産の部				負債の部・基本金の部・消費収支差額の部				貸借対照表の概要			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	7,566,014	7,417,904	148,110	固定負債	377,234	336,402	40,832	減価償却額の累計額	4,127,388	3,945,998	181,390
有形固定資産	6,403,639	6,580,772	△177,133	流动負債	692,616	630,757	61,859	基本金未組入額	49,908	4,437	45,471
その他の固定資産	1,162,375	837,132	325,243	計	1,069,850	967,159	102,691				
流動資産	3,031,269	2,671,822	359,447	基本本金	11,007,757	10,662,650	345,107				
合計	10,597,283	10,089,726	507,557	消費収支差額	△1,480,324	△1,540,083	59,759				
				合計	10,597,283	10,089,726	507,557				

科目	本年度末	前年度末	増減
正味財産	9,527,433	9,122,567	404,866
正味試算 = 資産 - 負債 (= 基本金 + 消費収支差額)			

貸借対照表の概要

平成22年度の資産の部合計は105億9,728万3千円、負債の部合計は10億6,985万円、資産から負債を差し引いた正味財産は95億2,743万3千円となり、前年度と比較して4億486万6千円の純増となりました。

OPEN CAMPUS 2011



第1回 6/25(土) 10:00~14:30

第2回 7/30(土) 11:00~15:30

第3回 9/23(祝金) 10:00~14:30

内容

- 学科紹介、体験講義、体験演習、キャンパスツアー、学食体験、先生・先輩とトークなど
- 保護者説明会 ●個別相談コーナー ●奨学金説明会 ●入試データの説明と分析

★参加高校生にもれなく「JRオレンジカード」「大学オリジナルグッズ」プレゼント

【体験講義・実習】

学科	第1回	第2回	第3回
国際言語学科	中国語一(イー)、二(アール)、三(サン) 音声のふしげ 行く川のながれは絶えずして、しかも本の水にあらず	Learning Natural English Thru Drama 中国語発音のコツを掴もう	世界を知る冒険～国際関係論入門～ 言葉のおと/orしき
	アクティブライフを支える健康ミニ情報 食事バランスガイドを知ろう	食物アレルギー AtoZ 時代の先を行くフードサービス	チーズ・バーを作ってみよう 栄養アセスメント ～身長・体重から判定してみよう～
理学療法学科	脳の解剖とその働き	子どもの運動発達と理学療法	少しだけ季節はぎれの幽霊を“見る”お話し
	大学の「講義」は「授業」と違うのか? ～牛乳を飲むと骨は丈夫になる?～	作業をしながら生きるということ 気功の一種、香功(シャンゴン)を楽しみましょう	あずましい暮らし～地域作業療法の実際～ あむ編む(織細工)
看護学科	放射線の何が危険なのか	看護の知識と技術	看護と心理
	手洗いと無菌操作	アロマトリラクゼーション	血圧測定とフィジカルチェック
	子どもの看護	妊婦体験と新生児の扱い方	遊びリテーション
こども発達学科	教育って何だろう?【小学校教育分野】	幼稚園・保育所の一日【幼稚教育・保育分野】	LD、ADHD、高機能自閉症児の教育 【特別支援教育分野】
	保育課程総論～遊びの世界～ 【幼児教育・保育分野】	こどもの歌について【小学校教育分野】	絵本で学ぶ保育の世界【幼児教育・保育分野】
	特別支援教育総論【特別支援教育分野】	聴覚障がい児・言語障がい児の教育 【特別支援教育分野】	教材の秘密を探る「サケが大きくなるまで」 (小学校2年生より)【小学校教育分野】

〔参加申し込み方法〕 ☎0120-240-552、または大学ホームページ 道文教大

検索

北海道文教大学2011年進学相談会・高校内進路ガイダンススケジュール

■北海道地区

●石狩管内

地 区	開催日時	会 場
札幌	7月1日(金)13:20~15:10	北海高校
札幌	7月24日(日)13:30~17:00	サッポロファクトリーホール
札幌	8月26日(金)15:00~18:00	札幌パークホテル
新札幌	9月15日(木)15:00~18:00	シェラトンホテル札幌
新札幌	11月8日(火)15:00~18:00	シェラトンホテル札幌
恵庭	11月9日(水)10:00~12:00	恵庭南高校
石狩	11月15日(火)14:00~15:20	石狩翔陽高校
札幌	11月18日(金)15:00~18:00	札幌パークホテル

●渡島・檜山管内

地 区	開催日時	会 場
函館	8月29日(月)15:00~18:00	ベルクラシック函館
函館	11月10日(木)15:00~18:00	ベルクラシック函館

●後志管内

地 区	開催日時	会 場
小樽	9月14日(水)15:00~18:00	グランドパーク小樽

●上川管内

地 区	開催日時	会 場
旭川	8月22日(月)15:00~18:00	ロワジールホテル旭川
旭川	11月14日(月)15:00~18:00	ロワジールホテル旭川

●網走管内

地 区	開催日時	会 場
北見	8月23日(火)15:00~18:00	ホテルベルクラシック北見
北見	11月15日(火)15:00~18:00	ホテルベルクラシック北見

●胆振・日高管内

地 区	開催日時	会 場
苫小牧	7月15日(金)12:00~18:00	ホワイパーカンシャイン
苫小牧	8月19日(金)15:00~18:00	グランドホテルニュー王子

●十勝管内

地 区	開催日時	会 場
帯広	7月21日(木)13:20~15:10	帯広北高校
帯広	8月25日(木)15:00~18:00	ホテル日航ノースランド帯広
帯広	11月17日(木)15:00~18:00	ホテル日航ノースランド帯広

●釧路管内

地 区	開催日時	会 場
釧路	8月24日(水)15:00~18:00	釧路市観光国際交流センター
釧路	11月16日(水)15:00~18:00	釧路市観光国際交流センター

東北地区

地 区	開催日時	会 場
盛岡	8月31日(水)15:30~18:30	ホテルトロピカ盛岡本館
秋田	9月1日(木)15:30~18:30	アルヴェ
青森	9月5日(月)15:30~18:30	青森国際ホテル
八戸	9月6日(火)15:30~18:30	八戸プラザーパンホール
仙台	9月12日(月)15:30~18:30	エアエル
山形	9月13日(火)15:30~18:30	ホテルメトロポリタン山形

上記日程・会場・開催時間は予定ですので詳しくはお問い合わせください。